

標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

◎平成22年度の状況（進行管理）を公表します。

	15年度使用量	22年度使用量	比較	削減率
ガソリン	49,656 ℓ	47,615 ℓ	△ 2,041 ℓ	△ 4.1 %
軽油	211,183 ℓ	256,744 ℓ	45,561 ℓ	21.6 %
灯油	258,382 ℓ	253,698 ℓ	△ 4,684 ℓ	△ 1.8 %
A重油	1,044,715 ℓ	823,024 ℓ	△ 221,691 ℓ	△ 21.2 %
LPガス	9,312 ・	7,871 ・	△ 1,441 ・	△ 15.5 %
電気	4,298,890 kwh	4,548,240 kwh	249,350 kwh	5.8 %
廃プラ一般	306 t	531 t	225 t	73.5 %
廃プラ産廃	0.18 t	7.28 t	7.10 t	3,944.4 %
廃油産廃	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0 %
CO ₂ 排出量	6,646,736 kg	6,856,573 kg	209,837 kg	3.16 %

実行計画の削減目標

6,646,736kg ⇒ △2.2% ⇒ 6,500,799kg

結果分析

基準年である平成15年度に比して、二酸化炭素排出量は210t増加し、削減目標である△2.2%には及ばず逆に3.2%の増加となりました。

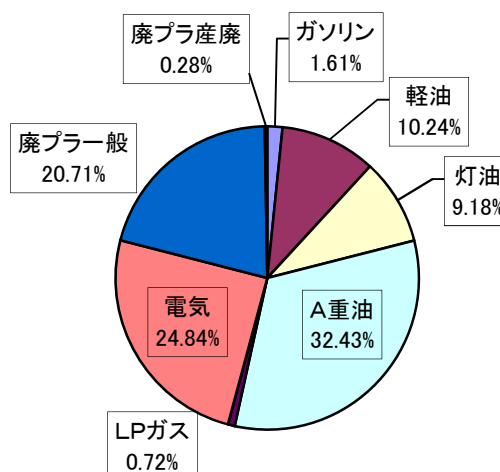
大きな要因としましては、依然、廃プラの燃焼量が増加しており、また組成率の増加も合わせて排出量が相当増加傾向にあります。今後においても町民の皆さんにさらなる分別の協力を依頼していくこととします。

A重油の削減率が大きくなっていますが、クリーンセンターの助燃剤の減少と各施設ボイラーの灯油への変更が主因となっています。

電気使用量は節電効果により大半の施設で減少していますが、やすらぎ園の業務用加湿器の導入、育成牧場の哺育センターの増設、下水道処理場の算定追加など総体では増加となっています。

公用車の燃料については、特に軽油使用量が伸びており車両の増車が軽油の使用量に影響しています。

22年度CO₂排出量構成比



○問い合わせ先

企画財政課企画調整係

015-485-2111(内221)